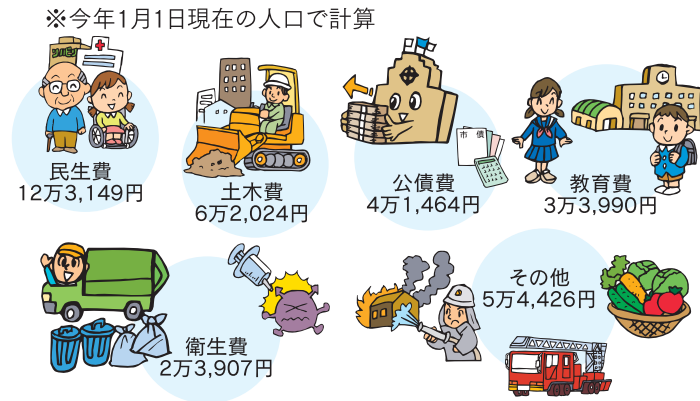


市民1人当たりの予算約33万9,000円は、このように使われます



21年度予算で行う経済・雇用対策

市内経済・雇用の安定のために次のような対策に取り組みます。

雇用確保など 1億9,000万円

- 本市で雇用する嘱託員を増員
- 雇用環境の厳しい若年者などを雇用した市内事業主へ奨励金を支給し、雇用機会の拡大を図る

中小企業者への金融支援 234億円

- 中小企業の資金需要に対応するため、経営安定化資金などの保証付融資全体の融資枠を拡大

公共事業の増額 16億2,000万円

- 通常の道路関係費に特別枠を設けるなど事業費を増額して実施
- 旧耐震基準で建設された校舎などの耐震補強工事を実施

その他経済・雇用対策につながる新規・拡充事業の増額 37億1000万円

平成21年度一般会計当初予算2,045億600万円 人とみどりが輝くまちづくりを進めます

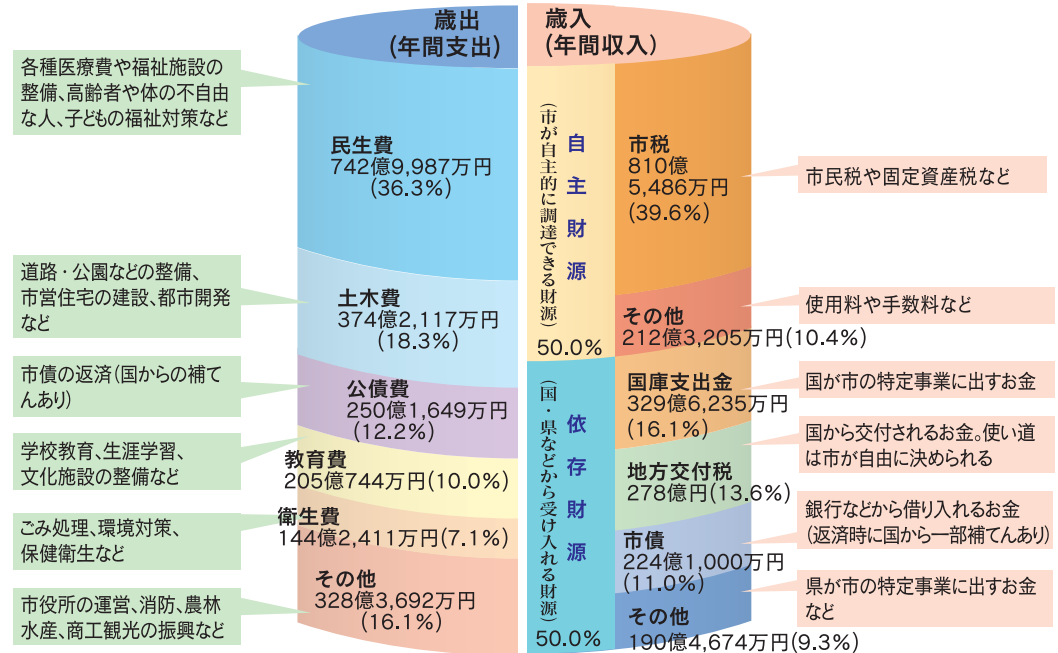


平成21年度当初予算案の記者発表を行う森市長

本市のまちづくりのロードマップである「人とみどりが輝くまち・かごしま」の実現に向け、次の5つの項目に重点的に取り組みます。

- 環境リーディングシティ鹿児島の実現など5つの重点的取り組み
- みどりあふれる地球にやさしい環境リーディングシティ鹿児島の実現
- 九州新幹線の全線開業を見据えた魅力と活力あふれる都市の創造
- 安心して快適に暮らせる住みやすいまちの形成
- 子どもから大人までいきいきと学べる地域社会の創出
- 市政の推進にあたって

一般会計当初予算額 2,045億600万円



今年度の一般会計・特別会計・企業会計を合わせた予算総額は、3644億1300万円。このうち一般会計は2045億6000万円、前年度と比較すると、25億1200万円の増で過去最高となりました。地域経済の後退に伴い、市税収入が大幅に減少する一方で歳出面では社会保障関係経費などの増が見込まれます。厳しさを増す財政状況の中で財政の健全性を維持するため、徹底した事務事業の見直しを行い、財源を重点的、効率的に配分しました。

■歳入は市税が前年比4.0%増
歳入年間収入で最も多いのは、市税で約810億5500万円、市民1人当たり換算すると約13万4000円の負担になります。

■歳出で最も多いのは民生費
一般会計の歳出(年間支出)で最も多いのは、子育て支援や医療、福祉の経費などに使われる民生費で、次に土木費となっています。

■歳入は市税が前年比4.0%増
歳入年間収入で最も多いのは、市税で約810億5500万円、市民1人当たり換算すると約13万4000円の負担になります。

■歳出で最も多いのは民生費
一般会計の歳出(年間支出)で最も多いのは、子育て支援や医療、福祉の経費などに使われる民生費で、次に土木費となっています。

平成21年度鹿児島市一般会計・特別会計・企業会計当初予算

会計名	予算額	対前年度比
一般会計(通常の市政を行う経費)	2,045億600万円	1.2%増
特別会計(特定の収入で、その仕事の支出をまかなう会計)	1,008億200万円	2.8%減
土地区画整理事業清算	214万円	20.6%増
中央卸売市場	7億3,531万円	6.0%減
交通災害共済事業	6,412万円	1.6%減
地域下水道事業	9,360万円	82.2%減
桜島観光施設	4億7,447万円	0.7%増
土地区画整理事業用地取得	2億1,300万円	70.1%減
国民健康保険事業	590億4,935万円	2.7%増
介護保険	339億91万円	9.3%増
老人保健医療	1億2,910万円	97.9%減
後期高齢者医療	58億3,590万円	5.1%減
母子寡婦福祉資金貸付事業	2億4,410万円	9.7%減
企業会計(地方公営企業の会計)	591億500万円	9.6%減
病院事業	142億7,400万円	0.4%増
交通事業	62億6,400万円	4.3%減
水道事業	224億137万円	18.2%減
工業用水道事業	1,124万円	14.6%減
公共下水道事業	134億1,939万円	4.0%減
船舶事業	27億3,500万円	14.5%減
合計	3,644億1,300万円	1.8%減

第4次総合計画を推進 主な事業内容

※右の取り組みで紹介した事業以外を掲載

●安心して健やかに暮らせるまち

- 災害時衛星携帯電話整備事業 182万円) 災害時の通信手段の途絶、停電などの影響を受けずに通信できる衛星携帯電話を整備し、災害時の連絡体制を強化
- 新型インフルエンザ対策事業 3,192万5千円) 新型インフルエンザの発生に備え、感染防止衣やマスクなどの感染防止用資材を整備
- 感染症予防医療事業 282万2千円) 新型インフルエンザの発生に備え、パンフレットを作成するなど、感染症に関する市民への啓蒙の拡充
- 新鶴池公園水泳プール整備・運営事業 10億7,193万円) 平成23年度の供用開始を目指す、PFI事業者による新鶴池公園水泳プールの工事に着手

●豊かな心と個性を育むまち

- かごしま近代文学館・メルヘン館リニューアル事業 4,740万円) 展示施設リニューアルのための基本・実施設計
- 町内会集会所バリアフリー化支援事業補助金 500万円) 既存の集会所のバリアフリー化を行う町内会に対し、交付対象経費の2分の1に相当する額を補助

●人と自然にやさしい快適なまち

- 再生可能エネルギー導入推進事業 4,523万1千円) みなと大通り別館庁舎に太陽光発電システムを設置。公共施設への太陽光発電システムの導入可能性を調査
- スプレー缶等収集事業 866万7千円) 来年1月からスプレー缶などの分別収集を開始

●機能的で多彩な交流が広がるまち

- コンパクトな市街地形成促進事業 1,693万4千円) 人口減少・超高齢社会に対応したコンパクトな市街地を形成するため、集客施設(商業集積)ガイドプラン事前調査や市民意識調査などを実施
- 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業 2,810万2千円) 駅周辺と上町や磯・多賀山、本港区などとの一体的なまちづくりのためのガイドライン策定などを実施

●にぎわいと活力あふれるまち

- 東アジア観光客誘致受入事業 1,389万8千円) 東アジアでの観光展などへの参加、市内の宿泊施設が行う外国語案内表示板の設置経費を助成
- 若年者等雇用促進助成事業 2,092万3千円) 若年者などを雇用した事業主に対し、国の奨励金制度と合わせて市単独の奨励金を支給
- 漁業省コスト促進事業 1,244万8千円) 船底掃除による航行燃料費の軽減のため、漁船の上架施設設置経費を助成

みどりあふれる地球にやさしい環境リーディングシティ鹿児島の実現

＜環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築＞

- 電気自動車導入事業 公用車に電気自動車を率先導入しPRすることで、市民・事業者への普及を促進(3,642万4千円)
- 電気自動車普及促進事業 電気自動車の購入経費を助成(300万円)
- 電動アシスト自転車普及促進事業 電動アシスト自転車の購入経費を助成(600万円)
- 住宅用太陽光発電導入促進事業補助金 温室効果ガスを排出しないクリーンな住宅用太陽光発電システムの設置経費を助成(5,400万円)

＜緑豊かで快適な環境づくり＞

- 市電軌道敷緑化整備事業 今年度は、新屋敷交差点・荒田交差点間を整備(1億2,804万円)
- 全国都市緑化フェア開催事業 九州新幹線全線開業時に合わせて開催する全国都市緑化フェアに向けた事務局設置や実施計画の策定など(4,418万8千円)
- 甲突川等水辺の生き物再生事業 甲突川などの水生生物保全のための要監視項目を調査(68万2千円)

九州新幹線の全線開業を見据えた魅力と活力あふれる都市の創造

＜自然と歴史を生かした観光振興＞

- 新幹線全線開業観光キャンペーン事業 九州新幹線全線開業を見据え、県や関係団体などと連携し、本市をPRする観光キャンペーンを実施(1,928万8千円)
- 美味のまち鹿児島 魅力づくり事業 本市の魅力として認知度が高い「食」をテーマに新たな魅力づくりを推進するため、マスコミや観光関係団体、飲食関係者などと連携した協議会を設置し、シンポジウムを開催(1,283万4千円)
- 平川動物公園リニューアル事業 魅力ある動物公園に再生するため、新しい展示方式を導入。今年度はアフリカの草原ゾーンや世界のクマゾーンなどの整備に着手(9億3,904万9千円)
- 自転車走行ネットワーク形成調査事業 自転車で走りやすいまちづくりのための調査などを実施(470万円)
- 清滝川通り(仮称)整備事業 清滝川通り路上駐車場跡を安全で快適な親水空間・歩行者空間として整備(3億5,600万円)

＜地域産業の振興と雇用の改善＞

- 商工業振興プラン(仮称)策定事業 本市の将来の商工業を中心とした産業のあり方を示し、商工業の一層の振興を図るための計画を策定(720万円)
- 東千石町19番街区整備事業 東千石町19番街区の一部をいづる・天文館地区の新たなにぎわい創出の拠点とするため、民間事業者が行う施設整備に係る調査設計に対し助成(6,280万7千円)

＜農業の振興＞

- 観光農業公園整備事業 都市と農村の交流を促進し、地域資源を活用した観光農業の振興を図り、資源循環型のゼロエミッションを目指した観光農業公園を整備。今年度は実施設計(4,068万2千円)

安心して快適に暮らせる住みやすいまちの形成

＜安心・安全社会の構築＞

- 低地区総合浸水対策緊急事業 排水施設の整備や可搬式ポンプの設置など(9億6,750万円)
- 安心安全協力事業所登録事業 犯罪の未然防止や災害時の救援活動などに協力を得られる事業所を「安心安全協力事業所」に登録し、連携(25万6千円)
- A(悪質商法)B(撲滅)C(シティ)消費者情報ネットかごしま事業 悪質商法から消費者を守るため、消費者被害未然防止ネットワーク会議により関係機関との連携を図るとともに、被害情報をメールマガジンなどで提供(44万円)

＜人にやさしいまちづくり＞

- 地域福祉推進事業 地域福祉計画に基づき、地域に根ざして、互いに支え合い助け合う仕組みを整備(4,058万4千円)
- 地域福祉館の機能充実 これまでの貸館としての機能に加え、地域福祉ネットワーク活動の拠点などの機能を持たせるため、施設整備の実施・管理運営体制を拡充(4億3,796万6千円)

＜少子化対策・子育て支援＞

- すこやか子育て交流館(仮称)施設整備事業 子育て中の親たちの交流、育児相談、子育て関連情報の提供を行う「すこやか子育て交流館(仮称)」の整備に向けた実施設計に着手(1,131万9千円)
- 多子世帯の保育料等の軽減 保育所や私立幼稚園に入所・就園する第3子以降の保育料などを軽減(保育所関係 5,151万7千円、幼稚園関係 3,130万1千円)
- 妊婦健康診査・健康相談事業 妊婦健康診査の公費負担の回数を現在の5回から14回に拡充(5億4,025万4千円)

＜質の高い都市環境の形成＞

- 市街地整備手法検討事業 「かごしま都市マスタープラン」に基づき生活環境の改善を図る計画の地区を中心に、現況や地域の意向などを踏まえた整備手法を検討(760万円)
- 公共交通不便地対策事業 「あいばす」の運行を開始した3地域以外の7エリアについて「あいばす」の導入など有効な対応策の計画を策定(6,609万1千円)

子どもから大人までいきいきと学べる地域社会の創出

＜子どもたちが健やかに成長する環境づくり＞

- 教育振興基本計画策定事業 本市の実情に応じた教育振興の施策を推進するため、新たに教育振興基本計画を策定。今年度はアンケート調査などを実施(266万7千円)
- 学校施設緑化推進事業 教育環境の充実とヒートアイランド現象の抑制を図るため、小・中学校6校の校庭の芝生化と13校の緑陰空間などを整備(1億208万2千円)
- 国際交流教育の推進事業 英語教育の充実と、国際的視野に立った生徒の育成のため外国語指導助手(ALT)を14人から21人に増員(9,792万2千円)
- 安心安全通学費補助事業 公共交通機関で通学せざるを得ない児童生徒の交通費を助成(463万6千円)

＜生涯学習の推進＞

- 学校支援ボランティア事業 地域住民の学校支援ボランティア活動への参加を促進し、学校の教育活動に地域の教育力を活用(2,496万6千円)

＜文化芸術の振興＞

- 美術品等取得基金制度の創設 本市美術品収集の基本方針に沿った美術品を円滑に収集するため、美術品等取得基金を設置(3億円)
- 異人館ルネッサンス事業 6,358万8千円) 近代化産業遺産保存活用事業(1,463万6千円) 異人館の耐震診断結果に基づく補修工事を実施。旧集産館などとともに「九州・山口の近代化産業遺産群」として世界文化遺産登録を目指した取り組みを進めるとともに、磯地区におけるこれらの施設の一体的な活用を検討

市政の推進にあたって

＜健全財政の維持と行政サービスの向上＞

- 次期総合計画策定事業 本市のあるべき姿と進むべき方向についての基本的な指針となる次期総合計画の策定に向けた基礎調査などを実施(2,083万1千円)
- 県警察本部跡地駐車場整備事業 本庁舎再編整備までの当面の活用策として、来庁者や美術館などの文化ゾーン利用者の駐車場として、暫定的に県警察本部跡地を整備(662万7千円)
- 新喜入支所庁舎整備事業 新喜入支所庁舎と新喜入公民館の複合施設の実施設計などを実施(9,208万4千円)

＜協働のまちづくりの推進＞

- 地域まちづくりワークショップ事業 地域の課題を解決するために地域住民が主体となって運営する地域まちづくりワークショップの活動を引き続き支援(364万1千円)

まちづくりに 若者の目線を生かしたい

- 雑誌に載っていた募集記事を見て、鹿児島の活性化のために応募したいかと委員に応募しました。
- ワークショップの活動で中央・上町地域のまち歩きを通じて、歴史・文化遺産、自然の豊かさをおもてなし。市電の軌道敷緑化などでまちに緑が増えていくのもうれしいですね。これを生かして、住んでいる人が自分のまちに誇りを持って取り組むを進めたいです。
- 同世代の友人の中にも地元が好きで、鹿児島を元気にしたいという気持ちを持っている人がたくさんいます。若い世代がもっとまちづくりに興味を持って参加できるきっかけづくりが必要だと思います。



中央・上町地域まちづくりワークショップ委員 東條史和さん

